事例No.	1237
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	茨城県笠間市

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・関係人口 ・公共施設活用

事例種類	移住促進

事例内容・タイトル

市民生活・移住施策を連動させた取り組み

出典

「地方への人の流れの創出」に向けた効果的移住定住推進施策事例集

（17）茨城県笠間市

地域	立地特性	人口規模	時間距離
関東	内陸	中・7.6	1時間30分

■笠間市の取り組みの特長・ポイント

◆ 移住を考える上では、「暮らし」そのものを提供する必要があると考え、**笠間市ならではの付加価値のある暮らしを「笠間暮らし」としていち早く発信**してきた。
◆ 移住施策が市民生活の質の向上につながるように意識する一方、市民への市の魅力発信に、移住者の客観的な評価を活用する等、**市民生活・移住施策を連動させて取り組んでいる。**

「笠間暮らし」を移住者・市民双方に発信

- 救急・精神ケア・終末期ケアまで、一連のケアができる医療・介護環境がある環境は、全国的にも貴重。**移住プランとして「安心」を前面にメディア等を活用してアピール**している。**市民に対する魅力発信でも「当たり前」ではない「資源」であることを発信**している。

公民連携によるサテライトオフィスの設置

- これまでの空き店舗活用を通じた**人と人をつなぐ「場づくり」**には手応えを感じている。これを生かして、現在、整備を進めているサテライトオフィス・空き家活用での**「場づくり」**についても、移住者・市民の両方に対して起業・活動支援等でアピールしていきたい。



図：テレワークツアーの様子
出所：笠間市テレワークツアー　ツアーレポート
https://ijuibaraki.jp/telework_kasama_report/

（18）新潟県長岡市

地域	立地特性	人口規模	時間距離
中部	海・山・雪	大・26.9	2時間

■長岡市の取り組みの特長・ポイント

◆ 平成の合併前の各地区の特徴を生かし、**3種類の地域おこし協力隊（中山間地等での地域課題解決、ビジネスモデルで地域課題解決、大学での学び・研究を通じた地域課題解決）**を採用し、**「地域の課題解決に資する定住者」の獲得に繋がるように、受入担当各課で丁寧にフォロー**をしている。

地域振興戦略部の地域おこし協力隊（中山間地等での地域課題解決）

- 地域のNPO等から地域おこし協力隊の受け入れ団体の募集を行い、テーマにあう人を採用している。必要な人材の経歴・資格・スキル等を、期待する仕事内容から、地域と一緒に考え募集している。（ワインのブランディング・発信、空き家を活用したギャラリー運営、農福連携事業等）

商工部の地域おこし協力隊（ビジネスモデルで地域課題解決）

- 研究開発や人材確保などの産業支援に取り組む地域おこし協力隊を募集し、将来、起業したい人を採用している。活動を通じて産業界と地域の課題を知ってもらい、ビジネスコンテスト等、様々な機会を提供して起業を支援している。（2020年度2社起業）。

政策企画課の地域おこし協力隊（大学の学び・研究を通じた地域課題解決）

- 市内大学大学院生を兼任する「半学半域」の地域おこし協力隊を募集。「米どころ・酒どころ」の長岡市での日本酒を通じた交流人口創出の研究、障害を持った子ども達が元気に活動できる居場所づくりを研究・実践している。



図：地方創生★政策アイデアコンテスト（内閣府）で地域おこし協力隊と長岡高専の学生が全国W準優勝
出所：長岡市提供